笛吹前





政務活動費の収支状況② 質疑および一般質問 8

臨時会 5 委員会レポート (B)

提出案件一覧表 ⑦ 市民リレートーク/編集後記 ⑩

令和4年度政務活動費の収支状況

(各会派の収支報告書に基づき掲載)

政務活動費は、地方自治法に基づき、笛吹市議会政務活動費の交付に関する条例および施行規則で定められて おり、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派および議員に対し交付されます。 なお、笛吹市議会では収支報告として、すべての領収書を添付することとなっています。

- ●交付金は、1人当たり月額10.000円に会派の人数を乗じた金額となり、年2回に分けて交付します。
- ●交付金額に残額が生じたときは、市へ返還します。

笛新会

会派のメンバー 6名

代表:海野利比古/保坂利定/神澤敏美/荻野謙一/神宮司正人/武川則幸

[活動内容]

●今年度はSDGsを可能にするエネルギー循環システムや島田市・ 茅ヶ崎市のグラウンド視察、議員個人の能力を高めるための政策形 成研修の受講等、積極的に調査研究活動に取り組んだ。先進地視察 はコロナ禍により長期間実施できていなかったが、今回改めて外部 視察の重要性を感じた。今後も各自治体等のまちづくり政策などに ついて研鑽・研究し、本市の発展のための参考とし活かしていく。



エネルギー循環システムの視察

(単位:円)

交付金額				支出	金額				返還額
义门亚朗	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	这是供
720,000	720,001	0	0	0	0	0	0	720,001	0

笛政クラブ

●会派のメンバー 2名→3名

代表:前島敏彦/古屋始芳/岡 由子(令和5年1月~加入)

[活動内容]

●本市で審議中の多目的芝生グラウンド建設計画を踏まえ、藤沢市・島 田市に視察へ行き、建設までの経緯や住民への説明方法、管理方法な ど多岐にわたり学んだ。また、ブランディングに成功した開成町を視察し たり、甲斐国分寺・国分尼寺の活用方法について国会を訪問し国会議員 と面会、議論したりと有意義な場を設けることができた。先進地視察や 新聞購読により見聞を広げることができたことは大きな成果であった。



3月30日文化庁への陳情

(単位:円)

交付金額				支出	金額				返還額
义门亚朗	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	以及124 台只
270,000	208,453	0	0	81,600	0	0	0	290,053	0

清心会

●会派のメンバー 3名

代表:落合俊美/河野正博/山田宏司

(令和4年8月結成)

[活動内容]

●市政および議員としての活動を広く市民に伝えるため、清 心会だよりを発行した。また、新聞購読をするなどして、 個々の知識向上にも努めた。



第1号の 清心会だより

(単位:円)

交付金額				支出	金額				返還額
文门亚朗	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	区 园积
240,000	0	0	0	54,400	184,404	0	0	238,804	1,196

誠和会

●会派のメンバー 2名

代表: 小林 始/中村正彦

[活動内容]

●本市で審議中の多目的芝生グラウンド建設計画を踏まえ、藤沢市・島田市に視察へ行き、建設までの経緯や住民への説明方法、管理方法など多岐にわたり学んだ。また、ブランディングに成功した開成町を視察したり、甲斐国分寺・国分尼寺の活用方法について国会を訪問し国会議員と面会、議論したりと有意義な場を設けることができた。先進地視察や新聞購読により見聞を広げることができたことは大きな成果であった。



3月30日文化庁への陳情

(単位:円)

交付金額				支出	金額				返還額
文门亚朗	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	以及120 6只
240,000	158,076	0	0	81,600	0	0	0	239,676	324

公明党

●会派のメンバー 2名

代表:渡辺清美/中川秀哉

[活動内容]

●議員活動および会派活動のため専門資料 (書籍) を購入し、 市民相談や各種議会質問、要望などに活用した。



3月17日 物価高騰 対策への 緊急要望

(単位:円)

交付金額				支出	金額				返還額
文门亚旗	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	以及126 400
240,000	0	0	0	24,500	0	0	660	25,160	214,840

日本共産党

●会派のメンバー 2名

代表:渡辺正秀/河野智子

[活動内容]

●議会報告を作成し新聞折込をすることにより、議会の様子を広く市民 に知らせた。その結果、市民から多くの意見を聞くことができた。



令和4年度に発行した議会報告

(単位:円)

交付金額				支出	金額				返還額
义门亚朗	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	泛迷朗
240,000	0	0	0	0	247,184	0	0	247,184	0

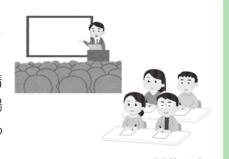
無会派

●1名

野澤今朝幸

[活動内容]

●清渓セミナー 「住民主体の地方自治を進めるために」に参加し、講 師の石破茂氏からは国の視点から、大南信也氏などからは現場 の視点から広範な見解が示され、地方議員としての資質を高める ことができた。また、広く新聞・書籍をあたり見聞を広めた。



(単位:円)

交付金額				支出	金額				返還額
文门亚旗	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	泛短的
120,000	46,320	0	0	76,778	0	0	0	123,098	0

【備考】

- 1. 令和4年度 (R4.4~R5.3まで) の交付金の使途を掲載しています。
- 2. 預金利子が発生した際は笛吹市の雑入として処理します。
- 3. 支出金額に充てられる額は交付金額までとなり、支出超過分は各会派の負担としています。
- 4. 詳細については、笛吹市情報公開条例に基づき閲覧することができます。
- 5. 年度途中に会派間で所属議員の異動が生じています。上記の会派人数は令和5年3月末現在の所属人数となります。
- 6. 笛政クラブと誠和会は合同研修を行ったため活動内容が同じになっています。

■令和4年度議長交際費累計執行状況

議長交際費は、議会を代表して各種行事など対外的な活動をするために要する経費で、 「笛吹市議会議長交際費支出基準」に基づき執行しています。

		弔 意		会 費		接遇		謝意		合 計
件数·金額	2件	15,000円	2件	31,000円	3件	34,470円	1件	2,835円	8件	83,305円

令和5年第1回臨時会提出案件一覧表

案件名	海		笛業	听会			Î	当政クラフ	ļ	洁	ıl)	<u>_</u>	誠利		公明	- 2	日期	本	無	
案件名	海						-	ノフノ				_	DN6-11	H III	ДН	拀	共產	镋	無会派	
	野	保坂	神宮	荻野	神澤	武川	前島	古屋	屈	落合	田厅	河野	小林	本中	渡辺	中川	渡辺	河野	野澤	結果
	海野利比古	利定	神宮司正人	謙一	敏美	則幸	敏彦	始芳	由子	俊美	宏司	正博	始	正彦	清美	秀哉	正秀	智子	野澤今朝幸	
部改正についての専決処分の承認																				
別の一部改正についての専決処分の承認																				
条例の一部改正についての専決処分の承認																				
計補正予算(第11号)の専決処分の承認		0	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	承認
ごス特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認																				
会計補正予算(第1号)の専決処分の承認								1												
会計補正予算(第2号)の専決処分の承認																				
一般会計補正予算(第3号)	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
	部改正についての専決処分の承認 列の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 計補正予算(第11号)の専決処分の承認 どス特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 会計補正予算(第1号)の専決処分の承認 会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 合計補正予算(第2号)の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 会計補正予算(第11号)の専決処分の承認 ごス特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 会計補正予算(第1号)の専決処分の承認 会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 計補正予算(第11号)の専決処分の承認 ごス特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 会計補正予算(第1号)の専決処分の承認 会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 計補正予算(第11号)の専決処分の承認 ごス特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 会計補正予算(第1号)の専決処分の承認 会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 会計補正予算(第11号)の専決処分の承認 ごス特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 会計補正予算(第1号)の専決処分の承認 会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 計補正予算(第11号)の専決処分の承認 ごス特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 会計補正予算(第1号)の専決処分の承認 会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 計補正予算(第11号)の専決処分の承認 ごス特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 会計補正予算(第1号)の専決処分の承認 会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 会計補正予算(第11号)の専決処分の承認 公ス特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 会計補正予算(第1号)の専決処分の承認 会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 合計補正予算 (第11号) の専決処分の承認 合計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第1号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 計補正予算(第11号)の専決処分の承認 公 ス特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 会計補正予算(第1号)の専決処分の承認 会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 合計補正予算 (第11号) の専決処分の承認 合計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 合計補正予算 (第11号) の専決処分の承認 合計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第1号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 合計補正予算 (第11号) の専決処分の承認 合計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 合計補正予算 (第11号) の専決処分の承認 合計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 合計補正予算 (第11号) の専決処分の承認 合計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第1号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 合計補正予算 (第11号) の専決処分の承認 合計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 会計補正予算 (第1号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 例の一部改正についての専決処分の承認 会計補正予算 (第11号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認 会計補正予算 (第2号) の専決処分の承認	部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 計補正予算(第11号)の専決処分の承認 公	部改正についての専決処分の承認 条例の一部改正についての専決処分の承認 計補正予算(第11号)の専決処分の承認 公

用語解説

専決処分とは…議会の議決が必要な事項を、市長が議会に諮らず決めること。 緊急で議会を招集する時間がない時など限られた場合のみ認められる。

議会を傍聴してみませんか!

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容 (表題) を公開しております。

議会の主な内容

笛吹市議会は、1年 (1月~12月) を会期として (会期制)、2月※、6月、9月、12月の年4回開催されます。 ※2月末からはじまります

議会傍聴って?-

議会では、市民の生活に関わるさまざまな問題について、活発な論議が行われています。 本会議は、だれでもその様子をみることができます。傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。

令和5年第3回(9月)定例会本会議の日程(予定)

9月 4日(月) 午後1時30分~ 市長行政報告・議案説明

12日(火) 午前10時~ 議案に対する質疑および代表質問

13日(水) 午前10時~ 議案に対する質疑および一般質問・付託

14日(木) 午前10時~ 議案に対する質疑および一般質問(予備日)

28日(木) 午後1時30分~ 各委員会の審査報告・討論・採決

※日程などに変更がある場合もあります。

※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

※NNS・甲府CATV(10チャンネル)で、市議会の録画中継をご覧いただけます。



- ・市議会議事堂(1階ロビー)のモニターで議会中継をご覧いただけます。
- ・市ホームページにて過去の代表質問、一般質問の動画をご覧いただけます。

6 月 20 日 6月13日 (火 6月2日 質疑・討論・ 提出議案の説明 会期の決定 会議録署名議 市長行政報告 全員協議会 火 議会運営委員会 指

議会日誌 GIKAI diary

3 March

閉会

質疑・

1日 甲府・峡東地域ゴミ処理施設事務組合幹事会

6月2日 (木) ~

23

金

委員会付託

本会議

質疑および

6月28日 (水)

各常任委員会

(付託事件

議会運営委員会、

全員協

議会

本会議

委員会審査報

追加議案の説明

2日 第1回定例会本会議(代表質問)

3H 第1回定例会本会議(一般質問·付託)

4日 御坂分団第2部詰め所竣工式

5日 2022年度笛吹市長杯争奪・第4回笛吹市グラウンド・ゴルフ選手権大会

7~8日 常任委員会

10日 浅川中学校内覧会

13日 議会運営委員会・全員協議会 第1回定例会本会議(中日)

14~16日 常任委員会(当初予算審査)

17日 常任委員会【予備日】

22日 日本さくらの会 桜植樹活動・峡東水道企業団打ち合せ

23日 ごみ処理事務組合・議会運営委員会・全員協議会 第1回定例会本会議(最終日)

25日 砂原橋開通式

26日 境川ミズバショウ春まつり

27日 東八広域行政事務組合議会・全員協議会・本会議 峡東地域広域水道企業団議会 · 全員協議会 · 本会議

28日 甲府・峡東地域ゴミ処理施設事務組合幹事会・全員協議会・本会議

29日 釈迦堂遺跡博物館組合議会 · 全員協議会 · 本会議

31日 御坂路さくら公園オートキャンプ場オープニングセレモニー

4 April

1日 令和5年度笛吹市消防団入退団式

2日 第18回笛吹市桃の里マラソン大会

3日 笛吹市職員人事辞令交付式 シルバー人材センター開所式(笛吹市役所御坂分室改修工事竣工式)

14日 第269回山梨県市議会議長会定期総会 市民生委員児童委員協議会定期総会

15日 おみゆきさん・第18回全国ゲートボール大会

22日 第18回笛吹市体育祭り 開会式

23日 男女共同参画フォーラム「輝け男女 ふえふきフォーラム2023」

24H 定例全員協議会·議会改革委員会 令和5年度笛吹市赤十字奉仕団定期総会

27日 令和5年度遺族会笛吹市支部定期総会

5 May

1日 春日居支所開庁式

12日 臨時会、事前説明会

13日 クラシックカーフェスタ

14日 第19回笛吹市長杯争奪ソフトテニス大会 わんぱく相撲大会

15H 第1回臨時会·議会運営委員会 全員協議会 · 本会議

18日 多目的芝生グラウンド研究会

22日 インターンシップ (人事院) 意見交換会

23日 定例全員協議会・夏祭りポスターコンペ

25H 関東市議会議長会第2回理事会·第89回定期総会

26日 笛吹市商工会総代会 (第19回)

30H 質疑·一般質問受付開始 市文化協会総会

初任行政研修地方自治体実地体験 (インターンシップ)

令和5年5月22日に地方自治体実地体験(インター ンシップ)として、法務省、外務省、厚生労働省、国 土交通省より、4人の国家公務員が笛吹市議会を訪 れ、古屋始芳議長、落合俊美副議長と、地方議会につ いて、意見交換を行いました。



令和5年第2回(6月)定例会提出案件一覧表

○賛成 ●反対 耐質成討論 ⑤反対討論 (古屋始芳議長を除く)

				笛雜	听会			i	笛政 クラフ	Į j	清	il):	슖	誠和		公		日共		無会派	
種別	案件名	海野	保坂	神宮	荻野	神澤	武川	前島	古屋	岡	落合	出	河野	小林	中村	渡辺	中川	渡辺	河野	野澤	結果
		海野利比古	利定	神宮司正人	謙一	敏美	則幸	敏彦	始芳	専	俊美	宏笥	正博	始	正彦	清美	秀哉	正秀	智子	野澤今朝幸	
条例制定改正	 ・笛吹市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定 ・笛吹市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 ・笛吹市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 ・ 笛吹市地域経済牽引事業促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正 	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
補正予算	 ・ 笛吹市印鑑条例の一部改正 ・ 令和5年度笛吹市一般会計補正予算(第4号) ・ 令和5年度笛吹市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) ・ 令和5年度笛吹市介護保険特別会計補正予算(第1号) ・ 令和5年度笛吹市水道事業会計補正予算(第1号) 	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
その他	・動産の取得(水槽付消防ポンプ自動車購入(明許)) ・動産の取得(八代スクールバス購入)	0	0	0	0	0	0	0	議長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
	・人権擁護委員の候補者の推薦	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
人事 案件	・農業委員会委員の任命・大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
請願	・加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	0	0	•	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	採択
発議	・加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の 実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための 意見書の提出	0	0	•	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
選挙	· 大蔵沢恩賜県有財産保護組合議会議員選挙	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	当選

※1 **請願とは**…… 住民が市政等について直接市議会に要望できる制度(必ず議員の紹介が必要)。

6月



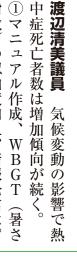
質疑および

本会議では、7人の議員が質疑および一般質 問をしました。

下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



B 熱中症対策は



掛け。

()帽子着用、

水分補給の呼び

②高齢者世帯等のエアコン整備・点②高齢者の熱中症予防の意識啓発は。 検を促す取り組みは の認知度向上、 情報発信は。

⑤子どもの熱中症防止取り組みは。 ④エアコンの利用控えに支援を。 、熱中症警戒情報発令時の対応は。 通学時の予防対策は。 一公立小中学校の電気代の手当は。

今後も予防の 普及啓発を行う

市と社会福祉協議会が連携して講話 ②ケアマネジャー訪問の際の声掛け、 ージ等で周知。情報発信に努める。 暑さ指数は、 ル等を基に予防の 介護予防事業の参加者等には、 を実施するなどして予防周知。 西海保健福祉部長 市の広報紙やホームペ 普及啓発を行う。 ①国のマニュア 冊子



温時におけるエアコンの使用を促し ③介護予防事業等の際に保健師

渡辺清美議員

(公明党)

事業を実施、

今後も支援策を検討。

料品等価格高騰重点支援給付金給付

④国交付金を活用。

ている。

今後は整備・点検も促す。

⑤ア学校ごとに必要な予算を確保。

問 今後の自治会体制は

する判断の参考にしている

労行事の開催可否・

内容変更等に関

③共助の仕組みの構築は。 ユニティの再構築は。 ②デジタル技術を活用した地域コミ 化への認識、 渡辺議員 ①地域コミュニティ弱体 支援の必要性は。

先進地の取組事例など を引き続き研究

対し多くの支援。 財政面では市単独事業で、 るなどの問題が生じていると認識 わる人が減り、一部の人に負担が偏 雨宮総務部長 ①地域へ積極的に 行政区に

③先進地の取り組み事例を研究する 中で行政区に情報発信する。 等に働きかける。 ②デジタル技術活用を研究、 区長会

電力・ガス・食

および経口補水液を配

付

が高



(笛政クラブ)

出

問 「書かない窓口システム」は

③「お悔みコーナー」利便性向上は。 ②引っ越しでの窓口手続きは。 ④戸籍届出手続きの利便性向 が向上するか。 ①どの証明書の発行手続きで利便性 岡由子議員 ム」は、負担軽減、 書かない窓口システ 利便性を高める。 上 は。

利便性が向 証明書の手続きで

口発行の全ての証明書の手続きで利 市川市民環境部長 ①戸籍住民課窓

きの利便性を向上、 ④引き続き戸籍の届出に関する手続 記入箇所を少なくしている。 ③必要書類をあらかじめ用意、 ②署名以外の記載は必要ない 書かない窓口の 極力、

問

岡議員 飼育動物のふんの放置禁止

> ⑤ふん害防止条例等の制定は。 ④ふん持ち帰り注意喚起看板設置は ③飼育の啓蒙活動は。 ②ふんのマナーの告知は。 成事業補助金の年間件数は。 ①犬の登録数、 に関する条例等の検討をすべきでは。 猫不妊・去勢手術助

定の必要性を含め検討 意識向上が大事、 条例制

845件。 令和3年度554件、 業補助件数は令和2年度551件 197頭。 市川市民環境部長 猫不妊・去勢手術助成事 ①登録数は4、 令和4年度

害の現状を把握する中で、条例制定 ⑤飼い主一人一人がマナーを守り 向上に向けて啓蒙活動を続け、ふん する市民には無料で看板を配布。 県と連携し、飼い方講習会を実施。 ②③市ホームページや広報紙で周 の必要性を含め検討する。 意識を高めていくことが大事。意識 ふん害防止の啓発看板を設置、希望 ④ふん被害の苦情が多い場所には、 知



②時間外在校時間等の削減の達成状 かの業務があるのか。 河野正博議員 ①授業準備やその ほ

③子どもと向き合う時間の確保は。 況と今後の取り組みは。 ④勤務時間の管理は。

⑤教育委員会の関わり方は。

在校時間の削減に取り組 具体的な目標定め時間外 む

②令和4年度調査では、月8時間を 超える教職員の割合は8・1%、 年・学級経営に係る事務、生徒指導 具体的な目標を定め、削減に取り組 和3年度より3・1ポイント減少。 や保護者対応、部活動などがある。 太田教育部長 ①会議や打合せ、 令

以上実施できるよう取り組むととも ③全校で「きずなの日」が年間20回 ④⑤勤務時間は毎月管理職に提出、 できるよう努める。 に、児童生徒と向き合う時間を確保

徒歩で通所する際の事故や事件など

状況によって責任の所在は異な

に過失があれば市の責任となるが、

通所。

市が車で送迎する際、

運転手

時間外在校時間の削減の指導をして ている。 の報告を受け、 教育委員会では各学校から勤務状況 また、 学校経営者会議等で 指導や助言等を行っ

(清心会)

周 笛吹市学童保育クラブは

②コロナ渦の運営状況、 ④安全な移動の確保、 ③コロナ後の実施状況と運営状況は。 河野議員 ①登録者数・利用者数は。 責任の区分は 課題は。

コロナ禍でも制限なく

用等をお願いしている。 行い、感染状況等によってマスク着 受け入れ、感染症対策として、マス ②③コロナ禍でも制限せず、児童を 中村子供すこやか部長 ④13校のうち、4校は空き教室を利 底などを行ってきた。現在も換気を ク着用、体温チェック、手指消毒徹 月平均742人、利用率は約70%。 土曜日と夏休みを除いた利用者数は 度登録者数は月平均1、 3校は車で送迎、6校は徒歩で ①令和4 092人。 ぐ笛吹市議会だより Vol.75

る。



(公明党)

中川秀哉議員

社会的弱者支援は (孤独・孤立・DV被害者等) ①DV被害者 0) 袙

害時対応は。

中川議員

問

②DV被害者相談件数と推移 ③県のDV相談支援センターへの通 談窓口と支援体制は。 は。

り組みと課題

複数の手段で情報を

伝えられるよう研究

成など有権者の対応は。

④DV被害者支援の今後の課題は。

雨宮総務部長

報と支援実績は。

関係部署が 密に連携し 支援

部署が連携し、迅速できめ細かい支 被害者の安全確保を最優先し、 場合は子育て支援課。 課が総合的な窓口。 ケースにより健康づくり課でも対応。 市川市民環境部長 未成年者がいる ①市民活動支援 いない場合は 関係

> 年度執行予定の市長・市議会議員選 換は、対応が難しい現状にある。来 ②選挙公報の点字や拡大文字への変 を伝えられるよう研究していく。

ら1件通報。 援を行っている。 ターに相談するケースも多くある。 ③令和3年度は市民活動支援課から ②市民活動支援課では、 3年度53件、 子育て支援課では令和2年度62 令和4年度は健康づくり課か 市を介さずに直接セン 4年度45件の相談。 年間1~2 ージは音声読み上げなどを取り入れ 続き研究。

4 方も多く、支援につながらないこと 腊 が課題。 時保護施設の利用を希望し 視覚障がい者 情報取得サポー 普及啓発に尽力する。 ない

河野智子議員 (日本共産党)

制度適用や定期券、

回数券の導入等、

まで行えるよう検討している。

、対利用料金は現在協議中。

割

引

①字幕や手話通訳など災 トは B 笛吹市の公共交通・交通 弱者の足の確保は

③広報紙やホームページにおける取 ②点字や拡大文字による選挙公報作 要件、地域課題をはっきりさせてお 交通の導入が進んでいるが、目的や 河野智子議員 全国でAIデマンド

①AIデマンド交通につい かなければならない。 対象者は市民のみか。 て。

を導入。複数の情報伝達手段で情報 ①新たに防災アプリ 正市内は距離関係なく同一料金か ウ予約はいつから可能か。 (イ運行する曜日と時間は。

いて。 ②AIデマンド交通以外の支援につ オ子どもや障がい者などの割引は。

(イ)ボランティアの移動支援団体は。 .福祉移動支援サービスは。

③声の広報を毎号作成。市ホームペ 挙から、市ホームページへの音声に い者向けの選挙公報の在り方を引き よる選挙公報掲載に取り組む。障が ウ高齢者外出支援は。 福祉タクシー 助成等を実施

土曜日、 (イ) 祝日、 は市民に限定する予定。 ウ利用日の1週間前から乗車の直前 返田総合政策部長 ①ア実証運行で 午前8時から午後6時。 年末年始を除く月曜日から

が課題。

の情報にアクセスしやすくすること

ている。誰もが理解しやすく、

目的

(1) は福祉タクシー利用助成を実施。 にも取り組む。 ② ア高齢者外出支援助成事業を実施、 の対象者の拡大は考えていない。 ヴ現時点で高齢者外出支援助成事。 合いにより送迎支援を実施 生活支援体制整備事業で、移動支援 市民が利用しやすい料金設定を検討。 部地区において住民同士の支え 障がい者の移動支援

問)自衛隊への名簿提供は

業

河野議員 ②電子・紙媒体での名簿提供は。 ①懸垂幕以外の協力は の懸垂幕がある。 市役所本館に自衛官募集

防衛大臣の求めに 応じ提供

②防衛大臣からの求めに応じ提供。 事を掲載、市役所本館カウンターに 雨宮総務部長 ぼり旗を設置。 ①市広報紙に募集記



(日本共産党)

圕 多目的芝生グラウンド 整備基本計画は

③グラウンド数は不足していないと ②事業費節減策を考えるべきでは。 渡辺正秀議員 い検討がない。 ①優良農地を潰さな

思うが。 保育園などはよくて、グラウンドは ④浸水想定区域の候補地除外。 駄目というのはどうか。 学校、

ア、早期実現は見通せるのか。 ⑤既存施設の活用に方針転換を。 ための既存施設活用は。 事業費および維持管理費縮減の

を行い、 市民や地権者の皆様に丁寧な説明 御理解を得る中で進める

④小学校等の生活区域に整備が必要 ウンドの整備で利用しやすくなる。 ③年間稼働率は全市的に高く、 ら進めていく。 ②基本設計で、 候補地とするのは一般的と考える。 補償費等を考慮すると、宅地以外を 返田総合政策部長 事業費を精査しなが ①用地取得費や グラ

> i, る。 ⑤ア、早期に整備できるよう、 整備目的等を踏まえた検討が必要。 必要。生活区域に整備する必要がな や地権者の皆さまに丁寧な説明を行 な施設は、浸水想定区域でも整備 基本設計でしっかり精査し進め 理解を得て進めていく。 全市的な利用を想定する施設は 既存施設の活用の考えはない。 市民

問 諮問委員会の運用は

は。 館の問題は運用が異なる。 ③多目的芝生グラウンドと青楓美術 ②青楓美術館の運営協議会への諮問 渡辺議員 や議会の意見を聞くべきだ。 民主的に進めていないのでは。 ①検討委員会立ち上げは、 市民

答 条例等に則り運用

ŋ ②話し合いを継続的に行い、 ③諮問機関は条例等に規定されてお 施。今後も市民や議会に丁寧に説明 見交換会やパブリックコメントを実 決に向け取り組んでいる。 し、意見を聞きながら進めていく。 作成段階で、全市民を対象とした意 返田総合政策部長 条例等に則り運用している。 ①基本計画案の 課題解



山田宏司議員 (清心会)

問 小中学校での 不登校児童の学習環境は

④「ふえふき教育相談室」が窓口と

②長期入院児童生徒数、学習環境は ラ」の利用は。 体のうち「教育支援センターステ 山田宏司議員 ①不登校児童生徒全

③市内の病院に院内学級等の設置は 徒の学力の状況は。 状況と規模、職員の定数は。 ④長期入院児童生徒の相談窓口は。 ⑥不登校児童生徒、 ⑤不登校児童生徒の相談窓口の稼働 ない場合、設置する計画は。 長期入院児童生

か。 ⑦教育支援センターと相談室を統合 環境の問題をどう捉え、向き合うの ⑧不登校児童生徒の学力維持と学習 し規模を大きくする必要があるが

在籍学校で学習支援に 取り組む

期欠席者144人のうち利用は25人、 ステラを利用できる5年生以上の長 太田教育部長 ①令和4年度末現在、 3 %

現状、 ③市内に院内学級設置病院はない ン学習など、 会可能であればプリントを届けての 病院の院内学級での学習のほか、 設置する計画はない。 タブレットを使ったオンライ 該当する児童生徒はいない。 できる範囲で対応。

なり、 設を借用しているため、 可能性について研究していく。 ⑥学力状況は把握していない。 定数はなく、 年度の相談2、175件のうち、 の確保に取り組む。 が必要だと考える。 は重要で、 ⑧適切な学習活動を行っていくこと が重要だと考える。ステラは県の施 ⑦連携しながら取り組んでいくこと の学校が学習支援に取り組んでいる。 登校に関する相談は39件、 ⑤「ふえふき教育相談室」の令和 相談に応じている。 個々の状況に応じた支援 現在は4人体制。 多様な教育機会 さまざまな 1 79 % 不 4



議員表彰

5月25日に開催された第269回山梨県 市議会議長定期総会および6月14日に開催された第99回全国市議会議長におきまして、市政の振興と発展に御尽力された功績により、「小林始議員」が特別表彰を、「神澤敏美議員」、「海野利比古議員」、「保坂利定議員」、「荻野謙一議員」、「神宮司正人議員」、「古屋始芳議員」が一般表彰を、それぞれ受賞されました。

6月20日、議場にて表彰の伝達式を行いました。



行政視察受入

愛媛県西予市議会(令和5年7月6日)

産業建設常任委員会の皆様が、ふるさと納税について、行政視察研修のため来庁されました。笛吹市議会からは、古屋議長と武川建設経済常任委員長がお迎えをし、総合政策部企画課より、研修項目の説明を受けました。



任期 令和7年3月31日まで 三枝 一彦(一宮町金沢) 三枝 一彦(一宮町狐新居) 大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会

任芝丸蘒岩済武小武三竹岩金佐小小川中増和期垣山原澤藤川倉川枝下間子藤林澤井村田

武 秀輝茂徳清光男樹 (一宮町末木) (一宮町末木) (一宮町末木) (八代町水金町 (八代町水井) (八代町水井) (八代町水井) (八代町水井) (八代町水井) (大代町水井) (大代町水井) (大代町水井) (御坂町 御坂 石和 町 町 町 竹居) 夏目 金中東広川高瀬 $\bar{\mathsf{H}}$ III 目目 原原 か ら3年間

展業委員会委員の任命

任期 令和5年10月1日から3年間樋口歌奈子(石和町四日市場)

人重

総務常任委員会

委員長 荻野 謙一 副委員長 河野 正博

員 河野 智子 渡辺 清美 前島 敏彦 保坂 利定

6月22日、23日の2日間、委員会を開催。付託 された条例の制定、条例の一部改正、令和5年度 一般会計補正予算、動産の取得を審査し、賛成 全員で原案の通り可決すべきものと決した。おも な質疑答弁は次の通り。

> に**②**修事電納り**A**めにに納**②** をか子税住 るつか税 なるである。 について、さらに説明を求にかかるシステム改修委託納税義務者通知書の電子化納 住民税管理事務のうち、 から、 法改正で令知法改正で令知 行うものである。 での対応が必要となる 義 いては、どのように現在使用している車 務者通 所要のシステム改 **畑知について、** 徴収にかかる

所に

売却を予定していいる。 ・ 消防車輌は がある事から、・ ・ がある事から、・ クションによる イン 定 クーネの需要

などになると考えている。 **A** 委託する業者の事務所 コー てタ入 進地の場場を

とともに、

以区ごと

0)

布す

計

画している。 行政

地

ンあ

地域の全世帯に配たソフレットを作成しめる方にも分かりぬる方にも分かりぬる

でなく、

処 輌 〈総合政策部所管〉 デマンド たついた- - 交通導



委員会審査

に視察を行っ

の視察を行ったのか。事業導入に当たり、

か。

久

は、柔軟に検討ない。実証運行の状況を証理行の状況を記述の状況を対しています。 との 意見があ 思見があった。 可していただ ールについて がまえ、

象パのけ**A**かQ対問ル 地ンあで 応いセ 心合わせる。 ホー 周 知方法はどうす ĺ 1 はい やに、対 のやすが、 対 市 役事 所業 説る対いいだ

東八広域行政事務組合議会

令和5年3月27日に、全員協議会および本会議が開催されました。

笛吹市議会からは、古屋始芳議員、落合俊美議員、荻野謙一議員、中村正彦議員、武川則幸 議員、前島敏彦議員、河野正博議員が出席し、令和5年度一般会計予算等について審議しました。 また、公平委員会委員の選任も行いました。

教育厚生常任委員会

委員長 中村 正彦 副委員長 山田 宏司

委員 岡 由子 神宮司正人 中川 秀哉 渡辺 正秀

6月22日、23日の2日間、委員会を開催。付 託された令和5年度一般会計補正予算、特別会 計補正予算を審査し、賛成全員で原案の通り 可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次 の通り。

用



委員会審査

1 **A** め変の保の **Q** つ る 更変育扶 〈子供すこやか部所管〉 E 更所助 は移 行った。 利 行 より、 し に 定員 型 たのか説明なり、利用定見 配定こども同 りい gを増加させ、 除育所のうち、 付費等 て、

を員園

求のへ

事

可 業

A れ 園 る Q はにが な待 十お 分に 機 い市 と 児 b 級務に臨 いうことを は 売だけ て 園 育 少 でいる。 の受け入いるか。 いるか。 とを根幹

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会

令和5年3月28日に、全員協議会および本会議が開催されました。

笛吹市議会からは、古屋始芳議員、落合俊美議員、中村正彦議員、神宮司正人議員が出席し、令 和5年度一般会計予算や、各条例案について審議しました。

また、組合議会議長及び副議長の選挙および、公平委員会委員の選任も行いました。

請願審査

令和5年第2回(6月)議会提出 令和5年請願第1号

「加配定数の振り替えによらない小学校三十五人 学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職 員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を 図るための請願書」は採択となりました。

意見書

令和5年6月28日提出 発議第3号

「加配定数の振り替えによらない小学校三十五人 学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職 員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を 図るための意見書」を賛成多数で可決し、関係機関に 送付しました。

建設経済常任委員会

始

委員長 武川 則幸

小林

副委員長 神澤 敏美

委員 落合 古屋

俊美 野澤今朝幸 始芳 海野利比古

6月22日、23日の2日間、委員会を開催。付託 された令和5年度一般会計補正予算、水道事業 会計補正予算を審査し、賛成全員でいずれも原 案のとおり可決すべきものと決した。おもな質疑 答弁は次のとおり。

> 設置する経緯 設置から年数が経 る御坂第2共選所の は。 過 計 L

補助金についての箱選管理 ず業費の、 費・ 農林水産業費、 無費、 賀の、JAふえふき・農業近代化施設整 理計 11 地域 7 数機整備費 **農業振** 農業費、 数機 を の **Q**

の収入の部において 資本的収入おと 対 収 し収入が不足となる額人の部において、支出負本的収入および支出

えることで、 ライン 0 向上を図るため。 デ 0) 化するも - な管理: 替えを 生産者の 産者の利便体制を整めので、ス の行

田ほどある。 田ほどある。 田ほどある。 田ほどある。 からい 令和5年3月 概ねどのなっ 3 億 9 するとな 損 益 くら 勘 末現 6 9 0 定 留 つ 在 7 0) 資い資 万に



委員会審査



峡東地域広域水道企業団議会

令和5年3月27日に、全員協議会および本会議が開催されました。

笛吹市議会からは、古屋始芳議員、落合俊美議員、武川則幸議員、神澤敏美議員、 海野利比古議員が出席し、令和5年度事業会計予算および各条例案について審議し ました。

私 0 地 域

笛吹権ちゃん



宮町 三枝 智久

言葉が常に私の心の 人者になれ!」と言ってい 私が尊敬する先輩 中にあ が 地 ŋ, 域 ただい 貢献 8年前

の第

た

より笛吹市男女共同参

画

推進委員とし

て活動している。

市

から委嘱された多

笛吹 市 0) 魅 力を楽しんで

八代町

克之

高部

笛吹市に住居を移しました。 平成年度の始まりに、 私は 横浜 横 浜 の海 か ら

辺に育っ

廻りを山に

囲

まれ

口

つ

府盆

地

の美し た私は、

11

桃源郷である笛

吹

市 た

住居を構え、

県内

0

観

光地をたくさ

吹

です。 すると、 した。 こどこ?」 ニア中央新幹線が早期に開通すること ん歩きました。 観光山梨に期待することは、 山 と説明を求められたり [梨県人の社員 勤 め 光の社員 からは、 員にお 話 そ 1)

んあるゴルフ場を足繫く通 会い 会社を退職した私は、 ています。 教室に通ったり、 茶道 県内にたくさ い楽しみに の先生に

出

市 0) れからも、 `魅力を満喫したいと思います。 健康に気を付け て、 笛

力ながら貢献していきたい。 く男女共同参画社会の実現に向け、 きるのか」を考え、 今こそ 位と決して良い数字では 日本の総合指数は146カ国中 ギ て学び地域に発信してい 域、 ヤ 6 職場から見た男女共同参画につ ップ指数2023年」 月に発表された「ジ 「地域のため 笛吹市の男女が 人の ために何が ありませ エ によると ン 1 2 5 ダ 微 で 輝









種多様な市民32人が集まり、

家庭

P

笛吹市議会では、タブレ ット端末を導入し、議会 運営のペーパーレス化を 進めています。

令和6年第1回定例会か らの完全ペーパーレス化 を目指します。



高ことを望みます。 市内観光施設の賑わい できました。これを期に できました。これを期に できました。これを期に の皆さまが丹精込めてい のもの いかの出荷により地域経 のもの いっした。 により地域経 のもの により地域経 のもの により地域経 のもの になりがした。

でも期にさらに発展が地域経済も活気づめて栽培した野販わいが戻り、農

展づ野農

すい菜家

委員 落合 法会広報編集委員会

俊美

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917番地 TEL.055-265-2112 (直通) FAX.055-265-1101 FUEFUKI CITY URL:http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/ 発行者:笛吹市議会議長 古屋 始芳 集:笛吹市議会広報編集委員会

副委員長:河野 智子 委員長:岡 由子

員:河野 正博 中川 秀哉 落合 俊美 野澤今朝幸